

『不思議の国のアリス』に見る 19世紀英国の社会

日時：2022年3月5日（土）14：00～配信開始 1時間程度

場所：兵庫医療大学 YouTube オンデマンド配信（開始後1週間）

講師：兵庫医療大学 共通教育センター 福田 範子

『不思議の国のアリス』。この不朽の名作を、知らない方はいないと思います。世界中の人々を魅了し続けている、児童文学の最高峰と言っても過言ではありません。それは、なぜか？ 本講座では、その謎の深淵に迫っていきます。コロナ禍の影響により、オンラインで開催します。

お申し込み メールで下記までお申し込みください。

メール chi-ki@ml.huhs.ac.jp

お申込みいただいた方のみ、参加URLをお送りします。

※通信費は自己負担となります。

お問い合わせ

〒650-8530神戸市中央区港島1-3-6 兵庫医療大学（地域連携担当）

TEL 078-304-3111 FAX 078-304-2713

平日：9：00～17：00

参加無料



『不思議の国のアリス』に見る 19世紀英国の社会

兵庫医療大学 共通教育センター
英文学者 福田 範子

本講座では、近代英国に生まれた『不思議の国のアリス』を取り上げます。作者のルイス・キャロルの生きた時代は、急激な科学文明の発展により、人々の生活習慣や社会通念に大きな変化を余儀なくされました。その遠因は、18世紀半ばの産業革命にまで遡ります。この大変革によって、それまでの牧歌的な英国が、機械国家へと変貌を遂げたわけです。ただ、その急速な変化に、必ずしも英国の人々がすんなりと対応できたわけではありません。そのストレスは、100年後のキャロルのいた英国社会に、現出することになるのです。『不思議の国のアリス』は、それを滑稽に示しています。

キャロルの問いかけやメッセージを読み解きつつ、当時の英国社会を旅しようと考えています。なぜこの物語が児童文学の最高峰として、今も愛され続けているのか？ それを一緒に解き明かしましょう。

キャロルの生誕地であるチェシャー州のダズベリー村や、物語が生まれたオックスフォードでの取材秘話、そして英国にあるアリスのティールームや、西宮市で楽しめるアリスのレストランも紹介します。



癒しの森のガーデン
カフェレストラン Alice



キャロルの生誕地



Davenport's Tea Room



QRコードを読み取るとメール作成できます。

*ご記入いただいた個人情報は、本企画以外の目的には使用致しません。